



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月16日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 3370 U R L <https://www.fujitacorp.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作 T E L 0144-34-1111  
配当支払開始予定日 －  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 3,769	% 3.2	百万円 92	% 20.5	百万円 83	% 2.7	百万円 54	% 34.1
2025年3月期第3四半期	3,651	6.7	76	△4.0	81	△9.8	40	△11.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 61百万円 (47.4%) 2025年3月期第3四半期 41百万円 (△13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 15.65	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	11.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 2,855	百万円 272	% 9.5
2025年3月期	2,798	238	8.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 272百万円 2025年3月期 238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 2.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 5,139	% 5.1	百万円 149	% 30.8	百万円 131	% 16.4	百万円 123	% 28.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期 3Q	3,432,300株	2025年3月期	3,413,300株
2026年3月期 3Q	79株	2025年3月期	79株
2026年3月期 3Q	3,420,931株	2025年3月期 3Q	3,413,221株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

### 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2025年3月期	—	—	—	180.00	180.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 2026年3月期の配当予想額につきましては、約定通りであります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策効果などを背景に緩やかに回復傾向が続いております。一方で、継続的な物価上昇による消費者マインドの悪化、不安定な国際情勢も継続しております、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料、光熱費の高止まり、人手不足等による人件費関連コストの上昇が継続しており、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて、高収益が見込める業態について慎重に検討したうえ、新規出店、改装及び新規事業への参入を進めることとしており、当第3四半期連結累計期間において、北海道網走郡津別町の「道の駅あいおい」の運営を受託し、新規に事業を開始いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は47店舗、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,769,488千円（前年同期比3.2%増）、営業利益92,052千円（同20.5%増）、経常利益83,233千円（同2.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益54,884千円（同34.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### a. 飲食・小売部門

当第3四半期連結累計期間における飲食・小売部門におきましては、フランチャイジー事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は季節限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやSNS等及び定期的なメニューの投下・訴求することで、リピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食・小売部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,354,045千円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益106,791千円（同8.4%減）となりました。

#### b. 製造・卸売部門

当第3四半期連結累計期間における製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、効率的かつ最大製造数を目標に掲げるとともに、新たな商品の開発及び販売並びに新規取引先開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は261,903千円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益14,839千円（前年同期はセグメント利益1,185千円）となりました。

#### c. 農畜産部門

当第3四半期連結累計期間における農畜産部門におきましては、搾乳量の増加目標を掲げ、栄養管理、牛舎環境の改善、牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めてまいりました。

農畜産部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は153,539千円（前年同期比1.0%減）、セグメント損失18,183千円（前年同期はセグメント損失30,114千円）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は761,070千円となり、前連結会計年度末に比べ55,741千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が48,106千円減少したものの、売掛金が36,345千円、原材料及び貯蔵品が28,707千円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,094,627千円となり、前連結会計年度末に比べ1,010千円増加いたしました。これは主にのれんが11,394千円減少したものの、有形固定資産が18,852千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,855,698千円となり、前連結会計年度末に比べ56,752千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は898,367千円となり、前連結会計年度末に比べ112,899千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が48,019千円減少したものの、短期借入金が86,929千円、買掛金が41,195千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,684,561千円となり、前連結会計年度末に比べ90,332千円減少いたしました。これは主に長期借入金が94,325千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,582,928千円となり、前連結会計年度末に比べ22,566千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は272,770千円となり、前連結会計年度末に比べ34,186千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当24,826千円、A種優先株式の消却10,000千円を行ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益54,884千円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は9.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間については、前年同期と比較して売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益、いずれも順調に推移しておりますが、原材料、光熱費、人手不足等による人件費関連コストの上昇が継続する場合は、当社グループの業績に影響を及ぼすことが予想されます。それらの安定の見通しなどの未確定な要素があるものの、各種コストの削減等を継続してまいります。

また、飲食・小売部門については、新規事業であります「道の駅あいおい」の運営受託事業を早期に軌道に乗せること、製造・卸売部門については、原材料をはじめとするコストコントロールと効率的な製造及び適切な在庫管理を、農畜産部門については、乳牛の栄養管理強化に伴う生乳出荷量増を継続目標として掲げてまいります。

連結業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業利益92,052千円、経常利益83,233千円、親会社株主に帰属する四半期純利益54,884千円を計上している一方で、有利子負債が2,087,552千円と負債純資産の73.1%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、一部の取引金融機関から返済条件の緩和を継続的に受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定メニューの投下やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやSNS等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコストの削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。さらには、「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実や海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、一部の取引金融機関に対し、長期借入金元本返済条件緩和の継続を要請し、同意を得たうえで返済をしておりますが、今後もすべての取引金融機関との取引正常化に向けて活動を継続し、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと認識しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	365,424	317,318
売掛金	180,057	216,402
商品及び製品	25,028	34,966
仕掛品	12,537	10,721
原材料及び貯蔵品	65,558	94,265
その他	56,723	87,395
<b>流動資産合計</b>	<b>705,329</b>	<b>761,070</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	809,872	815,757
機械装置及び運搬具（純額）	8,766	11,068
土地	428,228	428,721
建設仮勘定	528	528
その他（純額）	143,841	154,013
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,391,237</b>	<b>1,410,089</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	45,578	34,184
借地権	140,000	140,000
その他	7,767	8,327
<b>無形固定資産合計</b>	<b>193,346</b>	<b>182,511</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	61,897	61,250
敷金及び保証金	401,364	398,646
繰延税金資産	24,864	21,719
その他	50,932	50,433
貸倒引当金	△30,024	△30,024
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>509,033</b>	<b>502,026</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,093,617</b>	<b>2,094,627</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,798,946</b>	<b>2,855,698</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	87,639	128,835
短期借入金	228,772	※315,701
1年内返済予定の長期借入金	156,389	174,324
リース債務	5,611	8,092
未払金	171,448	157,871
未払法人税等	54,410	6,390
店舗閉鎖損失引当金	—	1,200
その他	81,197	105,952
<b>流動負債合計</b>	<b>785,468</b>	<b>898,367</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,654,429	1,560,104
リース債務	21,413	26,654
資産除去債務	16,134	16,302
その他	82,916	81,500
<b>固定負債合計</b>	<b>1,774,894</b>	<b>1,684,561</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,560,362</b>	<b>2,582,928</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	889,985	73,622
資本剰余金	549,534	162,259
利益剰余金	△1,205,885	25,055
自己株式	△53	△53
<b>株主資本合計</b>	<b>233,580</b>	<b>260,884</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,933	11,815
その他の包括利益累計額合計	4,933	11,815
<b>非支配株主持分</b>	<b>70</b>	<b>70</b>
<b>純資産合計</b>	<b>238,583</b>	<b>272,770</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,798,946</b>	<b>2,855,698</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,651,257	3,769,488
売上原価	1,498,840	1,521,600
売上総利益	2,152,416	2,247,887
販売費及び一般管理費	2,076,027	2,155,835
営業利益	76,389	92,052
営業外収益		
受取利息	153	486
受取配当金	1,113	1,029
不動産賃貸料	108,096	101,813
その他	29,933	12,508
営業外収益合計	139,297	115,838
営業外費用		
支払利息	34,798	31,324
不動産賃貸原価	87,149	85,993
その他	12,670	7,339
営業外費用合計	134,618	124,657
経常利益	81,067	83,233
特別利益		
固定資産売却益	181	3,643
資産除去債務戻入益	2,190	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	866	—
特別利益合計	3,239	3,643
特別損失		
固定資産除却損	11,213	7,311
店舗閉鎖損失	2,118	3,620
減損損失	—	4,642
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	1,200
特別損失合計	13,332	16,774
税金等調整前四半期純利益	70,975	70,102
法人税、住民税及び事業税	30,044	15,218
法人税等合計	30,044	15,218
四半期純利益	40,930	54,884
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,930	54,884

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	40,930	54,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	973	6,882
その他の包括利益合計	973	6,882
四半期包括利益	41,904	61,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,904	61,766
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社及び連結子会社においては、成長投資等に向けた機動的な資金調達を目的として、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
当座貸越極度額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	—	100,000
差引額	100,000	—

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,211,692	284,505	155,058	3,651,257	—	3,651,257
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又 は振替高	3,211,692	284,505	155,058	3,651,257	—	3,651,257
計	3,211,692	284,505	156,780	3,652,978	△1,721	3,651,257
セグメント利益又は損失(△)	116,615	1,185	△30,114	87,685	△11,296	76,389

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,354,045	261,903	153,539	3,769,488	—	3,769,488
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又 は振替高	3,354,045	261,903	153,539	3,769,488	—	3,769,488
計	3,354,045	261,903	153,539	3,769,488	—	3,769,488
セグメント利益又は損失(△)	106,791	14,839	△18,183	103,447	△11,394	92,052

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月26日開催の第47回定時株主総会決議により、同日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金819,985千円及び資本準備金549,534千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、増加したその他資本剰余金のうち1,176,057千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填补を行っております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	99,146千円	105,626千円
のれんの償却額	11,394	11,394